

令和6年 労働災害の発生状況

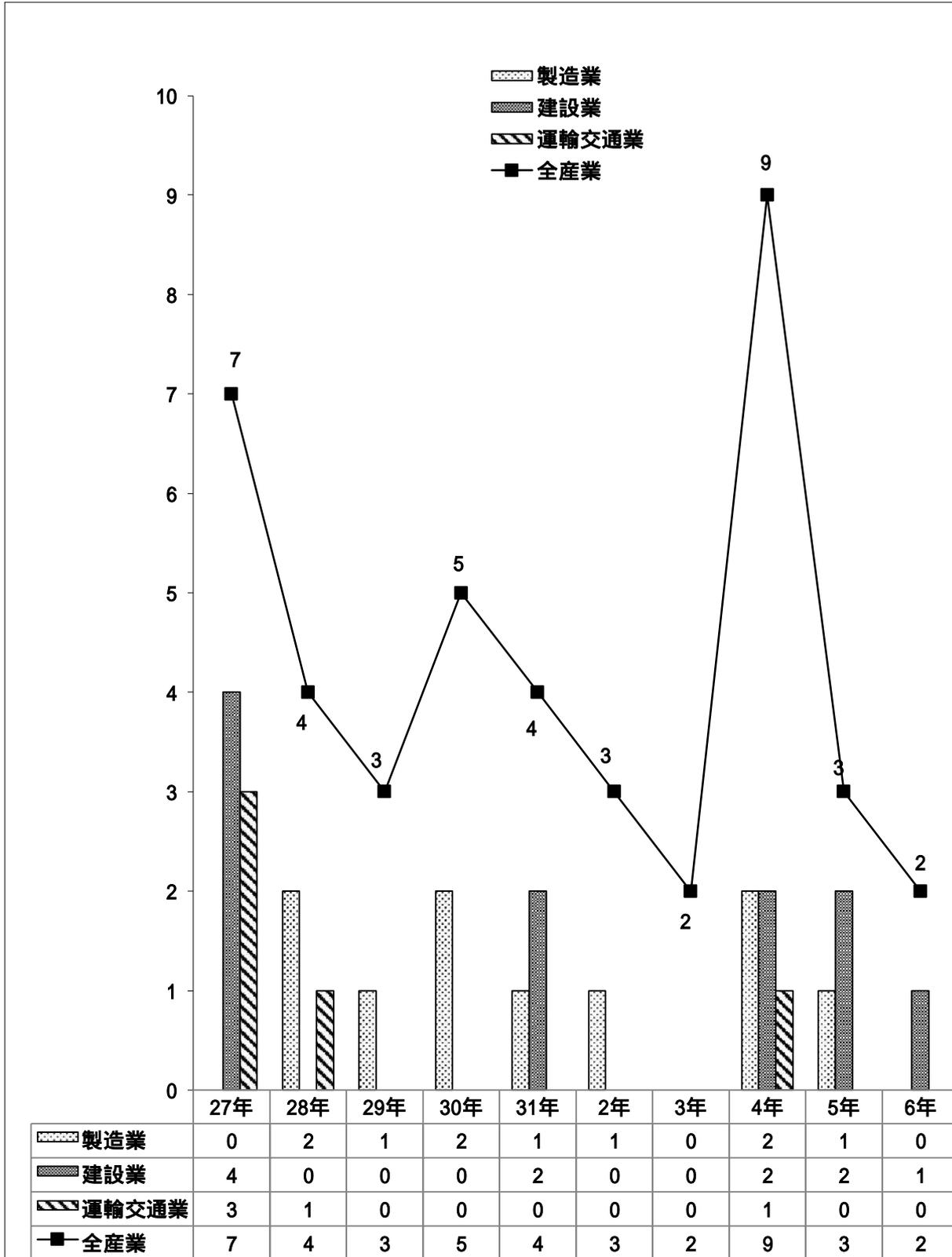
静岡労働基準監督署

1 死亡災害の現状

〔1～6まで全て新型コロナウイルス感染症に罹患した災害を除いた件数〕

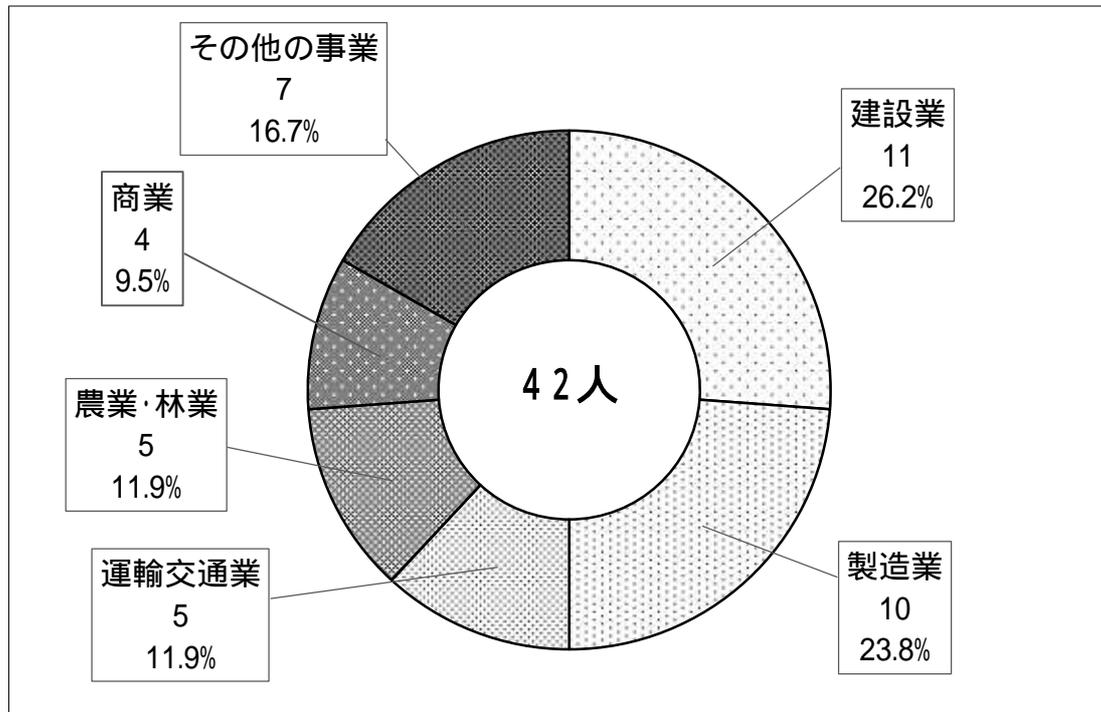
(1) 年別推移

令和6年の管内(静岡市)の労働災害による死亡者数は2人であり、前年と比べ1人減少した。



(2) 業種別の死亡災害発生状況(平成27年～令和6年)

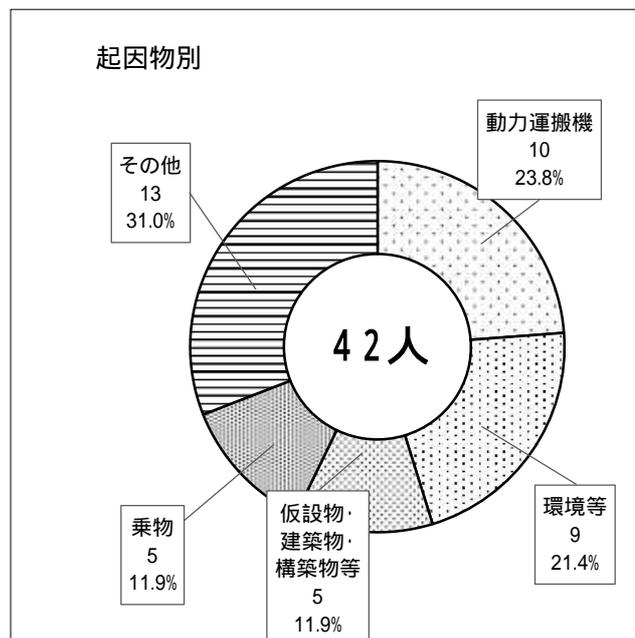
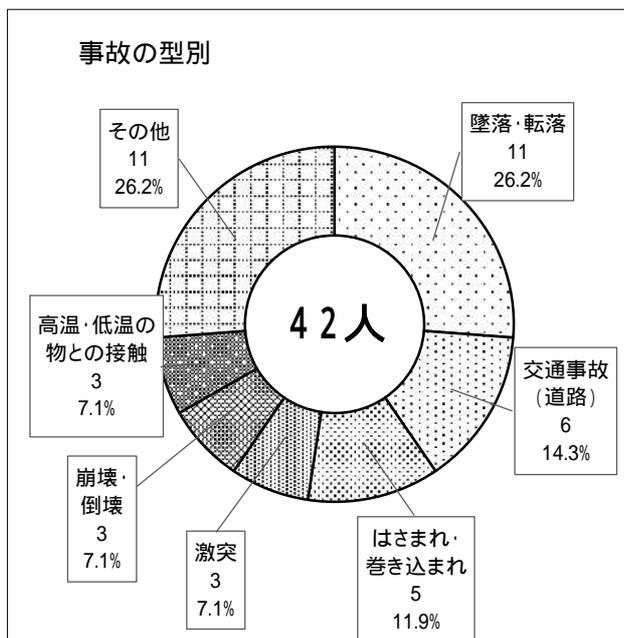
業種別では、「建設業」が11件と最も多く、次いで「製造業」が10件で、全体の半数を占めている。その他の事業の内訳は、運輸交通業5件、農業・林業5件、商業4件、その他の事業7件となっている。



(3) 事故の型・起因物別の死亡災害発生状況

事故の型別では、「墜落・転落」が11件と最も多く、次いで「交通事故(道路)」が6件%、「はさまれ・巻き込まれ」が5件となっている。

起因物別では、「動力運搬機」が10件と最も多く、次いで「環境等」が9件となっている。



2 死亡災害の概要(一覧)

静岡労働基準監督署

令和6年発生

番号	発生月 発生時間	業種	事業規模	事故の型 起因物	発生状況
1	3月 9時～10時	その他の 接客娯楽業	10～29人	墜落、転落 地山、岩石	ゴルフ場コースの外側にある法面に生えた細木の除去作業を行っていた際に、木が倒れてくるような音が聞こえ被災者が「倒れるよ」という声を発したが、その後被災者の姿が見えなくなった。被災者を捜索したところ、約40m崖下で発見されたもの。
2	7月 9時～10時	その他の建設業	10～29人	はさまれ、巻き込まれ 高所作業車	光通信ケーブルの敷設工事において、被災者は、高所作業車を傾斜のある所定の位置に移動させようとしていた。何らかの理由で被災者が運転席から離れた際に、高所作業車が動き出し、手で支えて停止させようとしたところ、付近に据え付けていた別の高所作業車との間に挟まれた。

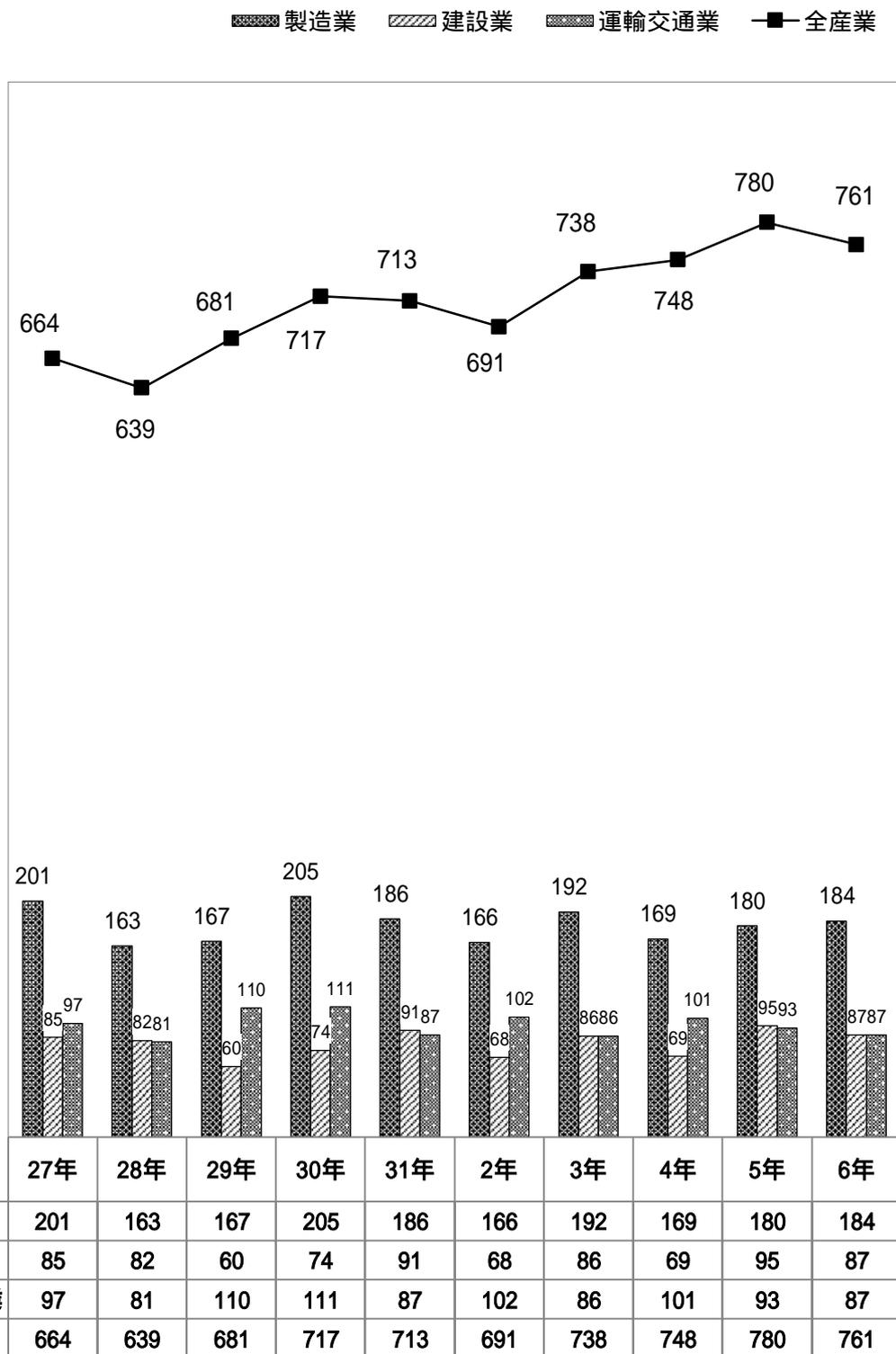
令和5年発生

番号	発生月 発生時間	業種	事業規模	事故の型 起因物	発生状況
1	7月 3時～4時	土木工事業	300人以上	墜落、転落 その他の仮設物・ 建築物・構築物等	橋梁建設工事作業中に、箱桁橋が地上に落下し、橋脚の上で作業していた者が箱桁橋の落下に巻き込まれ、約9mの高さから墜落し死亡した。
2	7月 3時～4時	土木工事業	10人未満	墜落、転落 その他の仮設物・ 建築物・構築物等	橋梁建設工事作業中に、箱桁橋が地上に落下し、橋脚の上で作業していた者が箱桁橋の落下に巻き込まれ、約9mの高さから墜落し死亡した。
3	12月 9時～10時	その他の製造業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ 乗用車・バス・バイク	自動車整備中に自動車のフロント部分を50cm程油圧ジャッキで持ち上げ、うまを用いてフロントの両端を支えた後、油圧ジャッキを抜き、自動車の下に潜り込み、フロントタイヤ付近にあるエンジンマウントの取り外し作業を行っていたところ、自動車が後方に動いたことでうまが倒れ、車体が被災者の上に落下したもの。

3 死傷災害(死亡および休業4日以上の災害)の現状

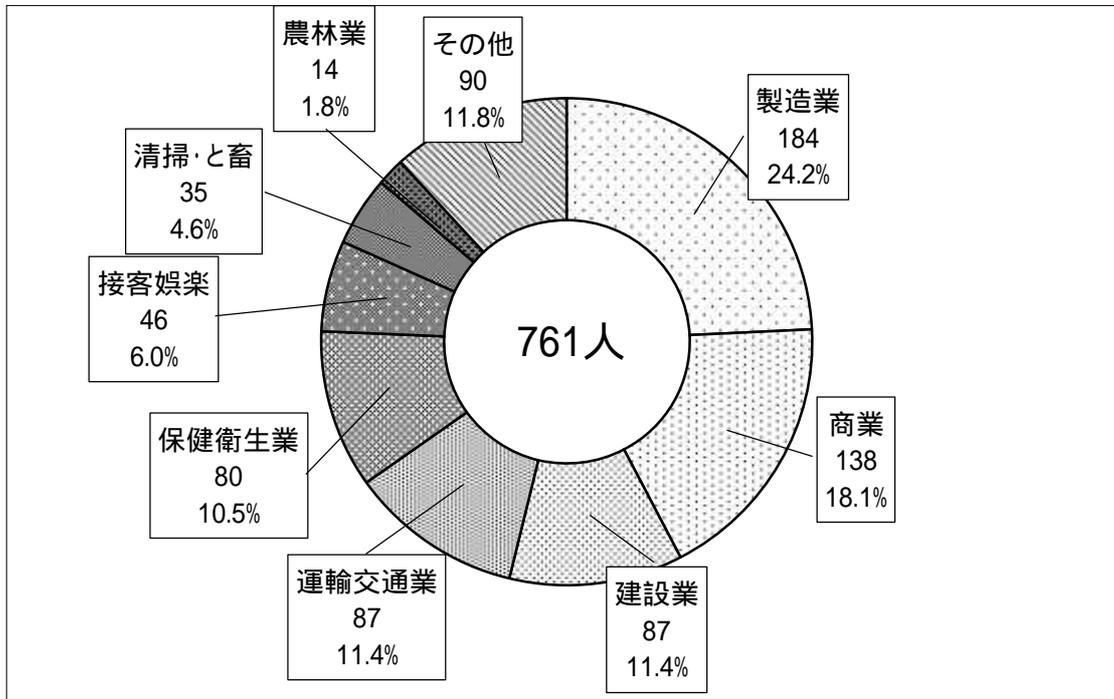
(1) 年別推移

令和6年の管内(静岡市)の労働災害による死傷者数は761人であり、前年と比べ19人減少した。



(2) 業種別の死傷災害発生状況

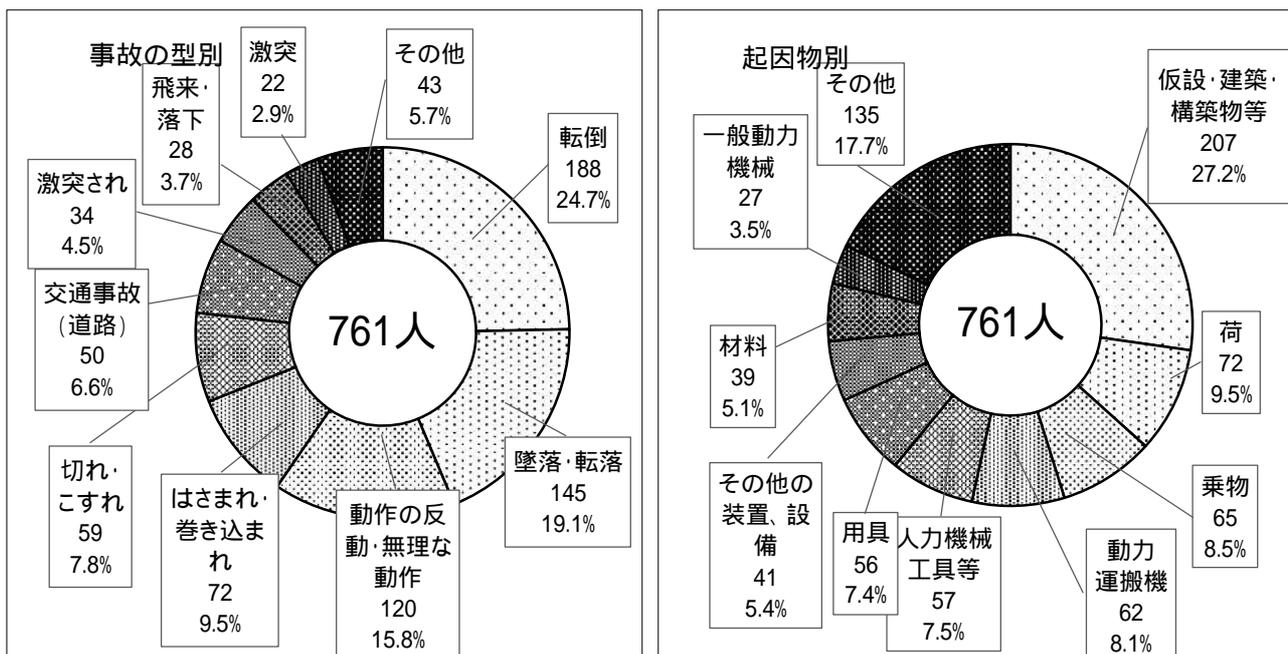
業種別では、「製造業」が24.2%、「商業」が18.1%、「建設業」が11.4%、「運輸交通業」が11.4%、「保健衛生業」が10.5%となっている。



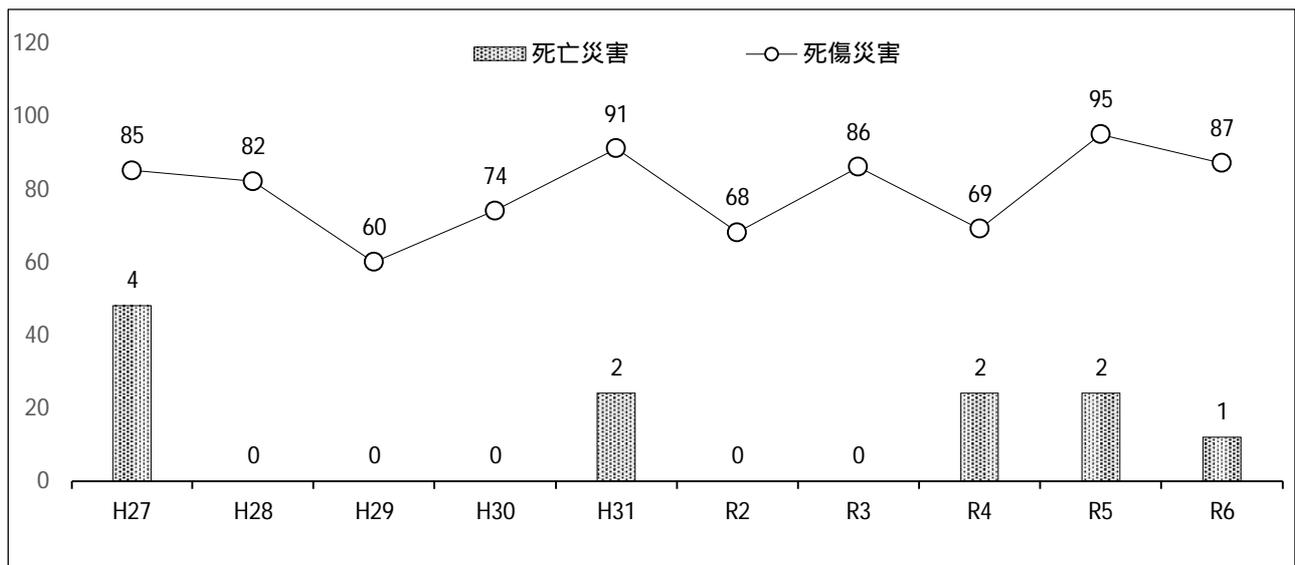
(3) 事故の型・起因物別の死傷災害発生状況

事故の型別では、「転倒」が24.7%と最も多く、次いで「墜落・転落」が19.1%、「動作の反動・無理な動作」が15.8%、「はさまれ・巻き込まれ」が9.5%となっている。

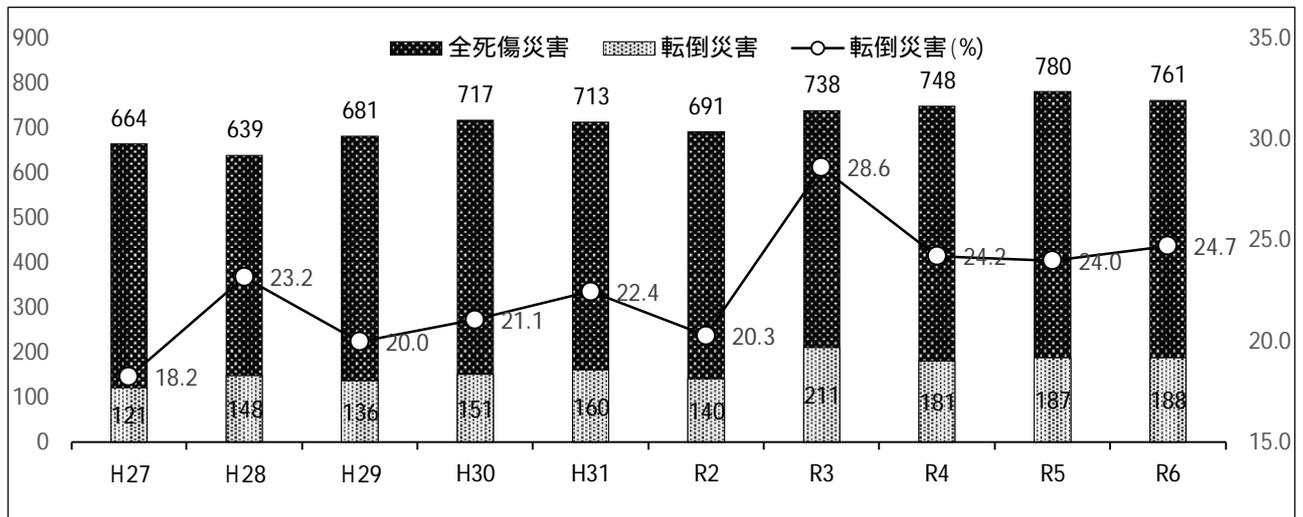
起因物別では、「仮設物・建築物・構築物等」が27.2%と最も多く、次いで「荷」が9.5%、「乗物」が8.5%、「動力運搬機」が8.1%となっている。



4 建設業における死傷災害の推移



5 転倒災害の推移



6 外国人労働者の労働災害の推移

